

## 1. はじめに

ローズハルマン工科大学(以下、RHIT とします。)での交換留学生としての生活がスタートし、早1ヶ月が経過しました。私は日本を出発してロチェスター工科大学の英語学校へは行かず、直接RHIT にやってきました。日常生活のすべてがいきなり英語になり、聞き取ることが難しいときもあります。自分の気持ちをうまく伝えられず、苦勞することもたくさんありますが楽しんでいます。毎日が新鮮で、月日の流れの速さに驚くばかりです。

## 2. RHIT での生活

インディアナ州の Terre Haute はコーン畑と大豆畑ばかりが広がる平坦な土地で、ここにRHIT があります。大学内は自然が豊かで、リスや野鳥をよく見かけます。8月下旬から9月上旬にかけては暑い日が続きましたが、最近は朝晩かなり冷え込んできました。懸命に穴を掘って貯食をしているリスを見かけると、寒い季節の訪れが近づいていると感じます。大学から少し離れるとスーパーマーケットや飲食店がありますが、徒歩では行くことができません。自動車を持っている友人にらせていってもらっています。大学の敷地内にはたくさんの寮があり、私はApartment East で生活しています。図1にアパートの様子を示し、図2に室内の様子、図3にキッチンの様子を示します。私のルームメイトはCasey とTori の2人で、とても話しやすく親切です。Casey は寮の責任者のRA という役職を務めており、毎日とても忙しそうにしています。RHIT はKIT 以上の宿題の多さですが、学生たちは皆とても活動的です。スポーツやクラブ活動に打ち込むほかにも、数多くのイベントを開催し、たくさんの学生が参加しています。この大学では学生はもちろん、先生や職員の方も非常にフレンドリーで居心地がいいです。



図1 Apartment East の外観



図2 寮の室内の様子

図3 キッチンの様子

### 3. 科目の履修

各授業は1時限が50分で金沢工業大学(以下、KIT)と比較すると非常に短く感じます。各科目は週4日授業があります。私は、Cell Structure and Function, College English の2科目を履修しています。また Japanese Culture and Language I の授業は履修しているわけではありませんが、native speaker として参加しています。授業が始まった最初の1週間は、Cellular Physiology の授業も履修していましたが、ハイレベルな英語と宿題の多さを知り、やむなく履修を取りやめました。科目を絞った分、単位取得を目指してできる限り努力しようと思います。

#### Cell structure and Function

これは細胞の構造と機能について学ぶ科目です。私はKITで大学1年次に履修しました。RHITの授業は教授のスピーキングが早く、聞き取るのが大変です。しかし、内容自体はすでに学んでいるので知識があり、授業中の講義が理解できます。最初の2週間ほどは、科学とは何かという問題や進化についての考え方について講義を受けたり、Discussion をしたりしました。さまざまな宗教を持つ学生たちが集まって学ぶ、アメリカならではの姿勢であると感じました。また、この科目には実験があり、毎週水曜日に3時限連続で行っています。実験内容を書いた資料は当日にしか渡されず、最初は単語が理解できずに非常に困りました。そこで先生に直接相談し、メールで事前に送っていただくことにしました。わからない単語を調べておけば、実験の概要が理解でき、グループでの相談にも自分から参加できるようになりました。Weiner 教授は非常に親切な方で、試験でも英語が第2言語である私に配慮して、試験時間を多く設けてくださったり、問題を易しい英語に言い換えてくださったりしました。現段階では、Long Essay の問題が非常に苦手なので、Weiner 教授に添削していただきながら、対策をしていきます。第二言語での専門の勉強は非常に大変ですが、やりがいがあります。

#### College English

これは英語が母国語ではない学生のための授業です。Reading, Speaking, Listening, Writing の4分野で構成されており、成績もそれぞれのスコアを合計して算出されます。曜日ごとに学ぶ分野が異なります。毎日たくさんの宿題が出されます。宿題もただ1人でこなすものではなく、アメリカ人の友人にインタビューをする課題やラジオ番組のリスニングをする課題などがあります。また、授業時間以外にESL centerでの週1時間の活動が求められます。ESL centerではチューターと呼ばれる学生に宿題を見てもらうTutoring、College Englishを受講している学生4人とチューターで会話をするConversation Group、設置されている端末を利用した発音練習の3つを行うことができます。私は、Writingの課題をTutoringの時間に添削してもらい、Conversation Groupに積極的に参加して、会話する能力を伸ばそうと努力しています。

クラスにおいて私以外は全員中国人の学生です。親しくなった中国人学生に話を聞くと、大学からアメリカで学ぶ学生と、アメリカの高校を卒業し、大学に入学した学生がいるようです。彼らは英語をととても流暢に話すことができReadingもとても早いです。英語力の差に悔しい思いをしていますが、私は私なりに成長ができるよう、勉強に励みたいと思います。

#### Japanese Culture and Language I

このクラスは初めて日本語を勉強する学生ばかりのクラスです。今月は基本的な挨拶や、ひらがなの習得を行っていました。1ヶ月も経過しないうちに自己紹介ができるようになり、彼らの吸収の早さに驚かされます。私は、ひらがなの書き方をアドバイスや、質問に対応するなどして授業のサポートをしています。私が図書館などで勉強していると、宿題について質問をしてくる学生もおり、本当に熱心です。普段何気なく使用している日本語も、いざ質問されると曖昧な理解で

あったり、英語で説明することの難しさを経験したりと非常に勉強になります。現在スライドを作成中ですが、今月末に KIT や金沢について学生たちに紹介するプレゼンテーションを行う予定です。

#### 4. クラブ活動

9月上旬に学校全体のクラブ活動や部活動の説明会が実施され、私は2つのクラブ活動に参加することにしました。現段階での状況を報告します。

##### Tea Club

週に1度メンバーが集まり、さまざまなフレーバーの紅茶を飲みながら話をします。映画を見たり、宿題をやったりしてもいいそうです。私は、いろいろな人と知りあうことや会話の練習がしたいと思い、加入しました。

##### BSEC

9月中は2回のミーティングが行われました。このクラブは **Biology** や **Biochemical engineering** を専攻する学生が加入しています。インターンシップの情報や就職活動にかかわる情報共有を目標に活動しています。メンバーは1年生も多く、意識の高い学生が大勢います。私はアメリカで生物を学ぶ学生たちがどんな職業につくのか興味があるので、今後もミーティングに参加していく予定です。

#### 5. おわりに

RHIT に来た当初は、事務的なトラブルが多く発生し、アメリカという国の大雑把な一面に辟易することもありましたが、今ではむしろ楽しんでます。自分の考えや訴えを流暢な英語ではなくてもしっかり発信すれば、必ず応えていただけます。そのような個人を大切にする姿勢はアメリカの好きな一面です。日本に閉じこもってはいは経験できなかったでしょう。この貴重な体験を1日も無駄にすることのないよう、過ごしていきたいと思います。